



Chitose Institute of Science and Technology

千歳科学技術大学報

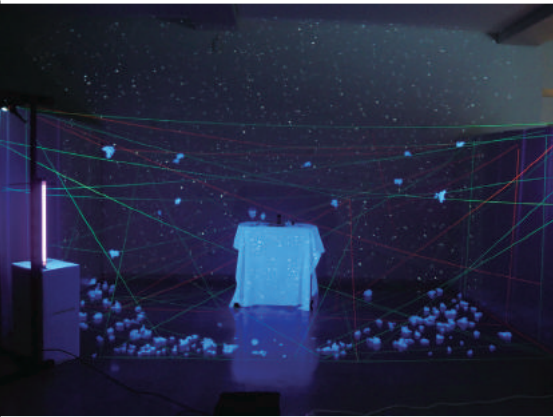
Volume

47

平成30年11月30日



第20回稜輝祭(大学祭)を開催しました



10月21日(日)に稜輝祭実行委員会主催による第20回稜輝祭(大学祭)を開催しました。今年は9月に発生した北海道胆振東部地震の影響により開催が危ぶまれましたが、学生の実施したいという熱意と多くの皆様のご協力・ご支援を賜りましたおかげで無事に開催することができました。

今年はお来場いただく皆様に笑顔をお届けしようという想いから「笑門来福」というテーマが掲げられ、屋内では模擬店、YOSAKOIソーラン演舞、理科実験等学生団体のイベントをはじめ、研究室の特別展示の他、屋外催しとして移動動物園の開園があり、お子様やご家族で楽しめる姿が多く見受けられました。

さらに「アジアン」"ものいい"による面白いライブおよび抽選会では多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。

稜輝祭の開催にあたり、企画・運営等各方面において多くの皆様にご支援・ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

発行/学校法人千歳科学技術大学企画総務課
千歳市美々 758 番地 65
TEL.0123-27-6001
ホームページ www.chitose.ac.jp

平成30年度父母懇談会を開催しました

10月13日(土)本学において平成30年度父母懇談会を開催しました。午前10時より開始し、学長挨拶に引き続き「全体説明会」を行い、大学院進学と就職について説明を行いました。その後事前に申し込みをされた「学部教育」「研究成果」「就職セミナー(就職支援会社による講演)」に分かれていただき、それぞれの内容について確認いただきました。特に、株式会社ジェイ・ブロード北海道支社長の前田健郎氏による講演では、参加者の皆様は熱心に耳を傾けていました。

午後からは、「学習・生活個別相談」「就職個別相談」「内定学生による就職活動体験報告会」を開催しました。個別相談では参加者の皆様が日頃不安や疑問に思われていることや学業成績、大学生活の様子および就職状況等について、学生一人ひとりの様子を担当教職員が説明いたしました。



CIF19千歳光科学国際フォーラムを開催しました

10月21日(日)～22日(月)に「千歳光科学国際フォーラム(CIF19)」を開催いたしました。1日目は、千歳市街地に立地する千歳タウンプラザにおいて、約90名の市民参加のもと、「Smart Nature City ちとせ」をメインテーマに、豊かな自然環境に恵まれ、国際空港を有する千歳市が今後、持続可能なまちづくりを進めていくために、本学が高等教育機関としてどのような役割や機能等を担うべきか、特別講演、招待講演、さらにはパネルディスカッションを通じ、講師の皆様から貴重なご提言をいただきました。

特別講演では、NPO法人産学連携推進機構理事長の妹尾堅一郎氏から「社会と産業のパラダイム変換 ～技術・制度・文化が、ビジネスもまちづくりも変える～」というテーマでお話いただきました。

また、招待講演では、株式会社野村総合研究所上級コンサルタントの小林庸至氏、森記念財団普及啓発部長 まちライブラリー提唱者の磯井純充氏および山口幸太郎千歳市長からそれぞれのお立場で大変興味深いお話をいただきました。

2日目は、会場を大学に移し、最新の研究開発の発表やポスターセッションが行われ、たくさんの学生が参加しました。



理工工房がファイターズ科学実験教室に参加しました

理工工房が、8月7日(火)～8月9日(木)の東北楽天ゴールデンイーグルス戦と8月14日(火)～8月16日(木)の千葉ロッテマリーンズ戦の6日間で、北海道日本ハムファイターズ誕生15thプロジェクトとして行う「ファイターズ科学実験教室」に参加しました。北海道内各地で多くの科学体験イベントや実験教室の開催実績を持つ理工工房の学生が行う実験教室は、来場した夏休み中の子どもたちも夢中で楽しむ姿がみられ、期間中に3,000人を超す皆さまにお越しいただきました。

■日時:8月7日(火)～8月9日(木)

東北楽天ゴールデンイーグルス戦

8月14日(火)～8月16日(木)

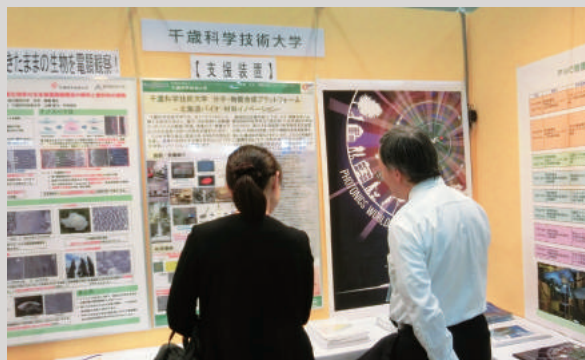
千葉ロッテマリーンズ戦

■場所:札幌ドーム 三塁側1階コンコース



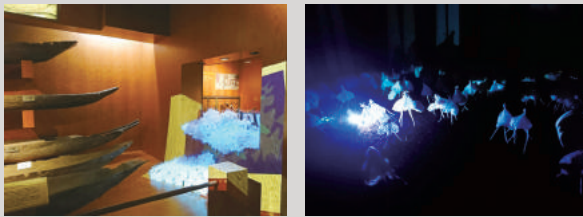
ビジネスEXPOに出展しました

11月8日(木)～9日(金)アクセス札幌(札幌市)において開催された北海道最大級のビジネスイベント「第32回北海道技術・ビジネス交流会」(通称ビジネスEXPO)に出展しました。本学からは文部科学省の採択事業である「ナノテクノロジープラットフォーム事業」について出展し、本学にて利用可能な機器の紹介や産学官の研究者に対して行っている総合的な支援等について活用事例の紹介を交えながら説明しました。今年度は357の企業・団体が出展し、2日間の来場者数は過去最大の21,200名でした。



ライトアート工房が苫小牧市美術博物館にて 特別展示会を開催しました

7月27日(金)から8月19日(日)の期間、苫小牧市美術博物館にてアート作品の展示を行いました。「艾沢祥子×千歳科学技術大学ライトアート工房 Paper Trail イメージの回廊へ」と題して、紙とロウを素材に制作活動を展開する美術家・艾沢祥子さんとのコラボレーションによる作品を、常設展示室やマルチビジョン室など館内各所に展示を行いました。常設展示に組み込まれた艾沢氏による無数のオブジェとライトアート工房による光技術を応用したメディア・アートとの融合がなされ、来館した多くの方々にお楽しみいただきました。



夢ナビライブ2018仙台会場に 参加しました

10月6日(土)夢メッセみやぎで開催された、高校生を対象とした「夢ナビライブ2018」に参加しました。「夢ナビライブ」は、学びたい学問を見つけ、そのイメージを明確にしたり、進学に関して気になる事を担当者に直接質問したり、大学について説明を受けることができ、極めたい学問の発見から学べる大学との出会いまでを一度に体験できるまたとないチャンスイベントです。

当日は8,836名の来場者がありました。本学からは、応用化学生物学科 オラフ・カートハウス教授、坂井賢一准教授の2名の先生が講義を行い、大勢の受講者が集まりました。また、本学の相談ブースにも多くの高校生や保護者が来訪し、熱心に本学の魅力や特徴について説明を受けたり、質問する姿が見られました。



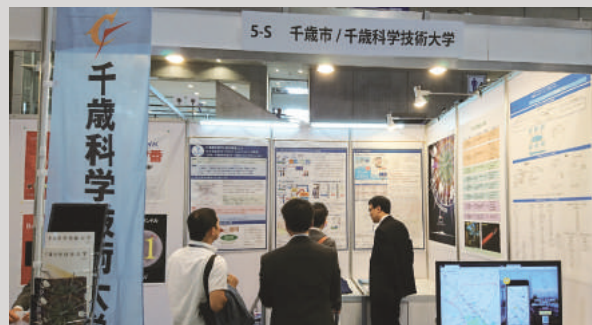
沖縄美ら海水族館 夏休み特別企画 「サメ肌 のふしぎ」へ協力しました

8月1日(水)～9月2日(日)沖縄美ら海水族館にて開催された夏の特別展示で、本学の理工学部応用化学生物学科 下村政嗣教授と平井悠司専任講師、研究室の学生達が展示用模型やパネル作成のお手伝いをしました。美ら海水族館や国立科学博物館から提供された実際のサメ肌を島津製作所のマイクロフォーカスX線CTシステムで解析して3Dデータを取得、研究室の3Dプリンタで拡大印刷して展示用模型を作りました。作成したパネルや3D模型は常設展示でも見ることが出来ますので、美ら海水族館に行かれた際はぜひご覧ください。



インターオプト2018に出展しました

10月17日(水)～19日(金)、幕張メッセ(千葉県)において開催されたインターオプト2018に非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアムと合同で出展しました。インターオプトは次世代アプリケーション・デバイスを目指した光学技術、製品開発の総合展示会です。本学の展示ブースでは、情報システム工学科 山川 広人専任講師が「北海道千歳市を実証環境とした地方自治体向けパスロケーションシステムの開発」について展示しました。産学官連携体制で開発・運用している本システムに多くの方が興味を持ち、熱心に説明を聞く姿が見られました。

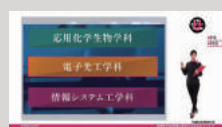


大学案内1分動画・テレビCMを 作成しました

2019年度版大学案内の内容を1分にまとめ、本学の学びについて紹介しています。

また、11月23日(金)～29日(木)の期間、テレビCMを放映しました。今回のCMは、来年の4月に公立大学法人化(設立認可申請中)する本学を離陸する飛行機になぞらえて制作したものです。動画は、本学HPまたは YouTube にてご覧いただけます。

YouTube 動画は
こちらから



オープンサイエンス・パーク千歳 「パッケージング、資源回収、マイクロ プラスチックから考える循環型経済」 を開催しました

11月2日(金)、まちライブラリー(千歳タウンプラザ)にてオープンサイエンス・パーク千歳「パッケージング、資源回収、マイクロプラスチックから考える循環型経済」を開催しました。基調講演に日本製紙株式会社 内村元一氏を迎え、「持続可能な包装材料」についてお話をいただきました。実際に最新のパッケージを手にとって見ていただくなど、ただ聞くだけでなく、触れていただくことで、より理解を深めていただきました。

話題提供では株式会社トッパンパッケージプロダクツ 笹本勉氏による「食品パッケージングの現状」、株式会社とませい 渡辺秀敏氏による「資源回収再生の現状」、千歳市環境センター廃棄物対策課 山本一俊氏による「千歳市におけるプラスチック回収」をお話いただき、技術動向紹介では本学の応用化学生物学科 オラフ・カートハウス教授による「マイクロプラスチックの分析」、谷尾宣久教授による「セルロースナノファイバー」、元北海道大学教授 辻井薫氏による「撥水化技術と紙の高機能化」をお話いただきました。

次回以降は、2019年1月25日(金)「着氷雪防止とインフラ整備」、2月8日(金)「インバウンドと国土強靱化」を開催予定です。オープンサイエンス・パーク千歳はどなたでもご参加いただけます。詳細については <https://snc.chitose.ac.jp/c/all/event> をご確認ください。



千歳市9館合同児童館まつりに 理科工房が参加しました

8月25日(土)、千歳市9館合同児童館まつりが北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)で開催され、本学の理科工房が出展しました。この行事は千歳市内の児童館や学童クラブのほか、各団体が出展し、子どもたちが遊びを通じて異なる年齢のこどもや地域の方々と交流し、地域の担い手となるきっかけづくりなどを目的に開催されています。理科工房のブースにもたくさんのお子どもたちが詰めかけ、出展した「イライラ棒」には長い列ができていました。



第2回光テクノロジー応用懇談会において 平井先生が講演しました

11月27日(火)、千歳アルカディア・プラザにおいて本学と非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)が共催する「第2回光テクノロジー応用懇談会」が開催されました。今回は応用科学生物学科 平井悠司専任講師が「表面微細加工による加硫ゴムの機能化と電子顕微鏡による生モノ観察」というテーマで講演しました。当日は市内内外から27名の方が集まり、バイオメテックス技術(自然界の機能性表面)や電子顕微鏡などについて熱心に質問していました。



千歳高星大学の皆さんが来学しました

10月2日(火)、千歳高星大学の皆さんが来学しました。千歳高星大学とは、千歳市教育委員会生涯学習課が開講している2年間の講座で、千歳市内在住の60歳以上の方が参加しています。今回は35名の皆さんが「地域探訪」の一環で来学くださり、本部棟の施設を見学したあと、本学の電子光工学科 長谷川誠教授より、大学の概要説明と装置を使った実験授業を受けました。皆さん小さな部品と格闘しながらも、楽しく授業を受けてくださり、たくさんの質問をされていました。授業のあとは学生食堂での食事。学生用にボリュームも多いのですが、おいしそうにたくさん召し上がっていました。「学ぶ楽しさを知りました」「少し難しかったですが、LEDについて少し理解できました」「科技大からたくさんの方の科学者が出てほしい」などの感想をお寄せくださり、たいへん喜んでいただけたようでした。



高大連携研究会を開催しました

11月24日(土)、2018年度高大連携研究会を開催し、本学の連携校のうち35校から39名の教員の皆様に参加しました。第1部は、2020年度から大きく変わる本学の入試制度について、山中明生理工学部長兼入試センター長より説明を行いました。第2部では、高大連携事業について、今年度の報告および今後の見通し等についての説明を行った後、本学のeラーニングシステムの最新の開発状況について、実際にコンピュータで体験していただきながら説明しました。また班別討議では、各校でのeラーニングシステムの活用事例や抱えている問題点、高大連携事業への要望など、活発な意見交換がなされました。



市立札幌開成中等教育学校 プレ先端科学特論を本学で実施しました

10月13日(土)、14日(日)の2日間にわたり、市立札幌開成中等教育学校のコスモサイエンス科3年生(中学3年相当)と4年生(高校1年相当)の計60名が本学に来学し、同校設定科目の「プレ先端科学特論」の一環として、大学の授業を体験しました。同校は文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けており、「プレ先端科学特論」は、大学や研究機関の研究者による講演等を通して、先端科学技術に興味・関心をもち、科学的教養を身につけることを目的として設定されている科目です。当日は、物理系テーマ「光の波動性を探る」と化学系テーマ「光変色反応」について実験授業を受けました。どの生徒も熱心に、楽しく実験に取り組んでおり、積極的に質問していました。



研究・学生活動

花いっぱいコンクールで優秀賞を受賞しました

研究・実験棟ロータリー内の花壇が、公益財団法人ちとせ環境と緑の財団が主催する「第31回(平成30年度)花いっぱいコンクール」で花壇部門中学校等の部において、「優秀賞」を受賞しました。3年連続の最優秀賞はおしくも逃しましたが、受賞は4年連続となります。この花壇は、菜園サークルの学生らが主体となり教職員と協力して植え付けや装飾、管理をしたものです。

表彰式は8月31日(金)、千歳市総合福祉センターにて執り行われました。

コンクールに参加された207団体のうち、最優秀賞を8団体、優秀賞は20団体が受賞したものです。



PCカンファレンス北海道2018で 賞を受賞しました

学生の伊藤優さん(理工学部情報システム工学科3年 曾我研究室所属)が、11月3日(土)、4日(日)に開催された「PCカンファレンス北海道2018」において、学生プレゼンテーションスキル賞優秀賞を受賞しました。

この賞は、分科会において行われた学生発表の中から、優れたプレゼンテーション技能を持つことが認められた者に送られるものです。

- 発表テーマ:「小学校のプログラミング教育必修化における教育の手法に関する報告」
- 発表者:伊藤 優



新しく赴任された先生から メッセージをいただきました

2018年8月より千歳科学技術大学の一員となりました山下文です。7月までは台湾の私立大学で教鞭をとっていました。冬でも10度をめったに下回らない南国から参りましたので、北海道の長く寒い冬を乗り越えられるだろうかと戦々兢兢としていました。

私の研究上の専門分野は日本古典文学ですが、外国人に対する日本語教育や日本人学生のコミュニケーション能力向上を目指した教育を行ってきました。今後は学生の皆さんの日本語を磨き上げるという任を果たすため、「日本語」に関わる科目を担当することになります。日本語は多くの日本人の母語に当たり、私たちは脳内に渦巻く日本語によって絶えず考え、判断を下しています。母語である日本語の能力を鍛えることは思考の質を高めることにもつながります。学生の皆さんには日本語を自家薬籠中のものとして操り、未来を切り拓いてほしいと思っています。

よろしくお願いいたします。



共通教育担当
専任講師 山下 文

KJF-ICOMEF2018において Materials Chemistry Frontiers ポスター賞を受賞しました

大学院生の兼平裕也さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程2年 木村研究室所属)が9月4日(火)から7日(金)長良川国際会議場で開催された「KJF-ICOMEF2018」においてMaterials Chemistry Frontiersポスター賞(Royal Society of Chemistry)を受賞しました。この賞はポスター件数192件の内の、3名が表彰されたものです。

- タイトル: Stability of calcified bone sections prepared by the newly developed frozen sectioning procedure (新規凍結切片法により作製した非脱灰骨薄切標本の安定性)
- 演 者: 兼平裕也, 伊藤哲平,
木村・須田 廣美
(千歳科学技術大学大学院)

KJF-ICOMEF2018 (2018 KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics)は、日本と韓国が共同で主催する有機エレクトロニクスと有機フォトンクスに関する国際学会です。KJF 開始当初(1989年)は20名程度の研究者が集う小さな会議でしたが、現在では常に200名以上が集まる国際会議です。



弓道部がⅣ部リーグで男子団体優勝し、 Ⅲ部へ昇格しました

10月13日(土)~14日(日)北海きたえーるにて行われた第64回全道学生弓道争覇戦において、男子Ⅳ部団体が優勝しました。次いで10月28日(日)に行われたⅢ部Ⅳ部入替戦にて2位の成績を収め、Ⅲ部への昇格が決まりました。「この大会では6人で戦うべきところを本学は4人で戦わなければならず不利な状況でしたが、部員全員、特に1、2年生が力を発揮してくれました。」と弓道部長よりコメントがありました。



「インターンシップ成果報告会」を開催しました

インターンシップ成果報告会を、10月9日(火)、16日(火)の2回にわたり、本学で開催しました。この成果報告会は、学生が夏休み中に参加したインターンシップでの学びをまとめ、報告する場として例年開催しております。平成30年度は、66事業所に121名(参加率67.2%)の学生が参加しました。

この報告会には、受入事業所のご担当者様にもご参加いただいております。今年度は、両日あわせて39の受入事業所より64名の皆様がお越しくださいました。報告会では、企業の皆様を中心に、多くの質問や意見をいただくことで、学生はさらに学修を深めることができました。

なお、報告会実施にあたっては、本学の4年生がティーチングアシスタントとして、3年生の発表資料の作成や練習を1ヶ月以上にわたりサポートし、また、報告会当日は各教室での司会進行も担当しました。

また両日とも、第二部として、参加事業所の皆様にご協力いただき、学生との「意見交換会」を本学 学生ホールにて実施しました。ここでは、学生が実際にインターンシップを行った事業所だけでなく、他の事業所の皆様とも忌憚なく対話することで、これから本格化する就職活動や社会人としてのあり方などについて、参加された事業所の皆様から貴重なお話をいただくことができました。また、学生も積極的に質問するなど、大変有意義な時間となりました。なお、意見交換会の開催にあたっては、本学同窓会のご協力をいただきました。



成果報告会の様子



意見交換会の様子

■2018年度 インターンシップ受入れ先一覧

株式会社ID、株式会社I-TECソリューションズ、Vineyard Works株式会社、株式会社上田商会 千歳工場、株式会社エイチ・エル・シー、NPO法人 ezorock、株式会社NTT東日本-北海道、株式会社エフイーエス、株式会社エルス、株式会社カミノ、株式会社協和エクシオ 北海道支店、キリンビール株式会社 北海道千歳工場、クオリサイトテクノロジー株式会社 北海道開発センター、クローバー電子工業株式会社、株式会社札幌ネクシス、株式会社GSI、株式会社ジャパンテックニカルソフトウェア、株式会社積水化成品北海道、株式会社ダイナックス、株式会社ダイヘン 千歳工場、千歳印刷株式会社、千歳市 観光スポーツ部交流推進課、千歳市 こども福祉部 子育て総合支援センター、社会福祉法人千歳市社会福祉協議会、千歳市 電気設備課、千歳市立青葉中学校、千歳市立向陽台小学校、千歳市立高台小学校、千歳市立千歳小学校、千歳市立図書館、千歳市立北斗中学校、千歳市立勇舞中学校、中央コンピューターサービス、株式会社つうけん、東芝ホクト電子株式会社、東洋熱工業株式会社札幌支店、ナラサキスタックス株式会社、日本アイビーエム・ソリューション・サービス株式会社、函館エヌ・デー・ケー株式会社、株式会社ブリッジ、北海道ガス株式会社 千歳支店、株式会社北海道産直センター、北海道中央葡萄酒株式会社、北海道日興電気通信株式会社、北海道立正学園 旭川実業高等学校、社会福祉法人北海道リハビリ、美和電気工業株式会社 札幌支店、株式会社もりもと、株式会社モロオ、大井電気株式会社 水沢製作所、アイコムシステック株式会社、株式会社インサイトテクノロジー、NECマグナスコミュニケーションズ株式会社、株式会社エム・ソフト、株式会社 湘南光学工業所、株式会社ゼネット、株式会社ソフテム、株式会社東和コンピュータマネジメント、日興電気通信株式会社、日本アルゴリズム株式会社、株式会社ハイマックス、富士インフォックス・ネット株式会社、株式会社芙蓉ビデオエージェンシー、ヘルソ株式会社 (事業所名順/敬称略)

「企業と大学の情報交換会」を開催しました

企業と大学の情報交換会を東京・札幌の2会場で実施しました。10月31日(水)に東京ガーデンパレス(189社249名参加)および11月13日(火)に札幌ガーデンパレス(132社177名参加)にて開催しました。

第1部の大学紹介では、本学の様々な取り組みや就職状況等について説明を行いました。また、札幌会場ではインターンシップ参加学生による成果報告会も行いました。第2部の情報交換会では、参加企業の皆様と本学教職員との活発な意見交換が行われました。今年度も両会場とも多数の企業様にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

当日のプログラムは下記のとおりです。

【第1部】

- 学長挨拶(学長 川瀬 正明)
- 大学紹介
 - ・大学紹介(学部長 山中 明生)
 - ・就職状況について(キャリアセンター長 吉本 直人)
 - ・(札幌会場のみ)インターンシップ参加学生による成果発表
 - ・キャリアセンター教員紹介 ・教職員紹介

【第2部】●名刺交換会 ●個別相談会



若年求職者向け就職支援セミナーを開催しました

昨年度に引き続き「若年求職者向け就職セミナー」を本学で開催しました。この事業は千歳市および千歳工業クラブ(第2回のみ)と共催で実施しております。

第1回は、10月24日(水)に北海道テレビ放送株式会社(HTB)アナウンサーの石沢綾子さんを講師にお招きし、「ローカルっておもしろい!!」と題して、ご自身の就職活動時やアナウンサー生活を通して体験されたエピソードを元に、「働くことの意義やローカルならではの体験できる魅力」についてご講演いただきました。参加者からは「仕事を頑張る意味とやりがいは自分よりも他者を尊重することが重要であることが分かった」、「地域に密着する仕事についての関心が高まった」、「仕事をしている自分をイメージしやすくなった」、「就職活動に対して積極的になろうという意識を強く持った」など、前向きな感想が寄せられました。

また、第2回は、11月21日(水)にキリンビール株式会社北海道千歳工場 総務広報担当部長の辻井一郎さんを講師にお招きし、「自ら切り拓く自分の未来」と題して、CSV活動の紹介やご自身が働くうえで心がけていることを元に、働くことの意義についてご講演いただきました。参加者からは「自分で決め、切り開くことがどの状況でも大事であると感じた」、「就職活動をする上で企業方針などもしっかり視野に入れて考えていきたいと考えさせられました」、「固定概念と新しい考え方というものを考える良い機会になったと感じる」、「企業は営利をただ追求するだけでなく社会にも貢献することでよりよい社会が形成されていくことが再認識できた」という感想が寄せられました。



第1回
石沢綾子さん



第2回
辻井一郎さん

入試情報

公立大学移行後の入試制度について 説明会を開催しました

2019年4月に公立大学法人(設立認可申請中)へ移行した場合の入試制度について、高等学校教員等を対象とし、本学、札幌、北見、旭川、函館、帯広、釧路の道内7会場で入試説明会を開催しました。説明会では、山中明生理工学部長兼入試センター長より、2020年度の入試制度概要を中心に、募集区分、募集人員、選抜方法等について説明した他、公立大学法人化に向けた現況報告等も行いました。

参加された高校教員からは、入試制度について理解する機会となり有意義であったとの感想や、公立化後の本学への期待の声も多く寄せられました。



オープンキャンパスへのご参加 ありがとうございました

平成30年度のオープンキャンパスは6月17日(日)の第1回を皮切りに、10月まで計4回開催され、延べ945名の高校生や保護者の方々にご参加いただきました。オープンキャンパスでは、模擬講義や研究室見学、在学生とのフリートーク、アトリウムイベント等、様々なプログラムと、明るく元気な学生スタッフが、皆さんをおもてなしいたしました。次年度の開催日程につきましては、決定次第ホームページ等でご案内させていただきます。



■平成31年度入試概要

入試タイプ		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	試験会場	募集人員
一般学力入試	I期	1月8日(火)～ 1月23日(水)	2月4日(月)	2月15日(金)	第一次:2月22日(金) 第二次:3月1日(金)	千歳・旭川・ 釧路・函館・ 盛岡	65
	II期	2月5日(火)～ 2月19日(火)	2月25日(月)	3月8日(金)	第一次 } 3月15日(金) 第二次 }	本学	20
	III期	2月26日(火)～ 3月12日(火)	学力試験:3月18日(月) 面接:3月18日(月)または 3月19日(火)	3月25日(月)	第一次 } 3月28日(木) 第二次 }	本学	5
大学入試 センター試験 利用入試	I期	1月8日(火)～ 1月23日(水)	—	2月15日(金)	第一次:2月22日(金) 第二次:3月1日(金)	—	30
	II期	2月5日(火)～ 2月19日(火)	—	3月8日(金)	第一次 } 3月15日(金) 第二次 }	—	10
	III期	2月26日(火)～ 3月12日(火)	—	3月25日(月)	第一次 } 3月28日(木) 第二次 }	—	5

インターネット 出願について



平成31年度入試から一般学力入試と大学入試センター試験利用入試の出願は、すべて「インターネット出願」で受け付けています。「インターネット出願」では願書を取り寄せる必要がなく、入学検定料をクレジットカードやコンビニ、ATMでお支払いいただくことが可能です。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

公立化への取組みについて

10月16日(火)千歳市議会第3回定例会におきまして、公立大学法人の定款等の議案が可決されました。10月24日(水)に文部科学省へ「千歳科学技術大学設置者変更認可申請書」及び「千歳科学技術大学解散認可申請書」を提出しました。

11月2日(金)に開催された「第7回千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する調査特別委員会(※)」に川瀬正明学長、渡邊信幸専務理事、理工学部 山中明生学部長が参考人として出席しました。同委員会では、公立大学法人化に係る①2020年度入試制度、②公立化後の大学教育の内容について本学から説明し、質疑が行われました。

11月13日(火)千歳市は、来年4月公立大学の運営主体となる公立大学法人の設置認可申請書(「公立大学法人公立千歳科学技術大学設立認可申請書」)を北海道に提出しました。

詳細については、本学HP(<https://www.chitose.ac.jp>)、千歳市HP(<https://www.city.chitose.lg.jp/docs/6576.html>)をご覧ください。



11月2日第7回調査特別委員会

(※)「千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する調査特別委員会」は、千歳科学技術大学の公立大学法人化への移行に関し、諸課題等について調査を行うため2018年3月に千歳市議会が設置したものです。

【訃報】本学教授 王建康先生が逝去されました

千歳科学技術大学理工学部電子光工学科教授 王建康先生(64歳)が、11月29日逝去されました。

王先生は、昭和57年に中国復旦大学外国言語語文学部日本語学専攻卒業。

平成11年4月、光科学部物質光科学科助教授に着任。平成21年4月、総合光科学部光システム学科教授、平成26年4月、図書館長を歴任され長年に渡って本学にご尽力いただきました。



王建康先生

生前の数々のご功績を偲び、ここに謹んで先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。ご寄付いただいた皆様へ感謝の意を表し、ご芳名を掲載させていただきます。(敬称略、50音順)公表を希望されない寄付者様につきましては、「外匿名希望〇名」という形で掲載させていただきました。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただきますようお願いいたします。

■寄付者ご芳名(平成30年8月1日から11月30日まで)
阿部 安希子 今井 敏郎 齊藤 良裕 峠 秀一
森戸 和美 山田 範保 株式会社カミノ
ほか匿名希望の方8名 敬称略

株式会社カミノ様よりご寄付(奨学資金)をいただきました

11月14日(水)に株式会社カミノ様(神野幹士社長)より奨学資金としてご寄付をいただきました。株式会社カミノ様は、千歳市の地元企業として千歳周辺地域を中心に事務用機器販売を主に行うとともに、本学の売店運営を行っております。

ご厚意をいただきまして誠にありがとうございました。本学の学生の就学支援に有効に活用させていただきます。



本学へのご寄付のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



大学公式!



TwitterとInstagramで情報発信中!

本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。Twitter、InstagramどちらもIDは@cistkohoで検索ください。



Twitter



Instagram

編集後記

この度の北海道胆振東部地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご家族と関係者の方々に心よりお悔やみを申し上げます。また地震により甚大な被害を受けられ、不自由な生活を余儀なくされている皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。本学の稜輝祭も影響を受けましたが、実行委員会をはじめとし、学生・教職員や皆様のご支援、ご協力により、10月に無事開催する事ができました。稜輝祭を盛り上げていただいた来場者の皆様、本当にありがとうございました。